

# 永井先生からのメッセージ No.13

～元小学校の先生から保護者の皆さんへ～

2023年 9月 8日 野毛山幼稚園

## 【しつけ Part 2 ～玄関・靴 あれこれ～】

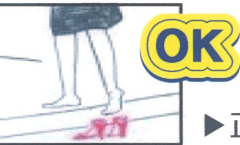
元小学校教諭 永井 裕

### ①我が家の告白



靴をそろえる習慣が身についているご家庭には 敬意を表します。

- ▶永井家(息子3人)では、このしつけを、入学前後に断念。その結果、10代後半になると、玄関には30cm近い靴があふれかえり……まるで、佃煮(つくだに)のようでした。
- ▶「友達の家に行ったら必ずこうするんだぞ!!」「ああハイハイ」これが精一杯。しつけが守られていたかどうかは、不明。



【OK】

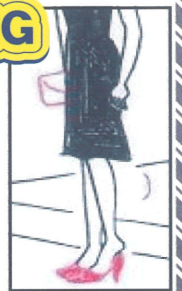
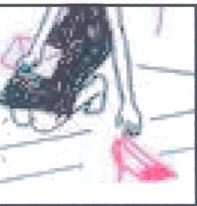
### ②訪問の作法 情報



【NG】

- ▶正面を向いて靴を脱ぎます。そして、相手にお尻を向けないように、かがんで靴を180度回し、すみに置きます。(上座・下座は省略)

【NG】▶靴をそろえるのが面倒だからと、右のようにクルッと後ろを向き靴を脱ぎ、後ろ向きで上がるのは、失礼なふるまいです。



### ③ある『老師』の言葉

- ▶上の情報は、あくまでも、訪問時の「体裁だけ」を考えた大人の理屈。これでは、子どもは納得できません。(もちろん、できているご家庭は、どうぞ今のままで。)

- ▶私はこう考えます。玄関に入ったら、まず、自分が今、来た方を振り返ります。帰宅であれば、まさに今日一日の『振り返り』。訪問であれば、一期一会の覚悟。心の落ち着きを求めて、玄関の扉をじっと見据える。そのために振り返るのです。あとは、心おだやかに、靴が乱れぬよう、後ろ向きで上がればよろしい。



- ▶玄関は、「今日への感謝」「相手への感謝」を新たにし、イライラなどはリセットする、大切な場所なのです。このように、「そのことに、どんな意味があるのか」を教え諭(さと)す。それが、「しつけ」だと、私は思っています。

💧 帰宅するなり玄関先で、仕事のイライラそのままに、「靴そろえなさい!!」と大声で。そんな時代もありました。(永井) 💧

### ④「どんな意味があるの?」「問答無用!!」も、ある。

- ▶例えば、小学校では、靴のかかとを箱の角ギリギリに入れさせることが多い。理屈ぬき。これができているクラスは、教室の居心地もいい。



「昇降口を見れば、その学校が分かる。」という説もある。

- ▶「問答無用。つべこべ言わず、ともかくやらせる。」
- ▶「挨拶の大声で、沈んでいた気分が上がる日もある。」
- ▶「靴をそろえ続けることで、よさが分かってくることもある。」
- ▶「ちょっと強引な指導が必要かな?」「そろそろ大丈夫じゃないかな?」と感じる時。ご家庭でもありますよね。

### ⑤「玄関は大変!!」「玄関は大切!!」「GOOD LUCK!!」

- ▶日々の玄関。買い物帰りで大荷物の日もあれば、急な用事で家に駆けこむ日もある。親が手本となり、靴をそろえる。いつもいつもできることではない。
- ▶しかし、子どもにとって玄関は、家の自分/外の自分を切り替える大切な場所。気持ちよく離陸し、気持ちよく着陸するための滑走路のようなもの。

- ▶靴はそろえられなくても、親子の気持ちがぴたりそろった「素敵な玄関」になりますように。

